

都道府県名	群馬県	市町村名	前橋市	地域再生計画名	街と自然が共生する「こころの風“あかぎ”」推進計画
計画期間	平成17年度～平成21年度	交付金交付期間	平成17年度～平成21年度		

計画事業の全体概要
 合併後の赤城山南面にある新市域と旧前橋市域の南北の幹線道路整備を中心に、既存の東西幹線に沿って立地されている観光地や景勝地に対するアクセス改善を行う。同様に合併後の新市域と中心市街地である旧前橋市域の交流促進を図る。また、区域内の林業における森林へのアクセスに必要な林道整備により、アクセスを確保し、森林事業の効率化を図る。加えて、公共用水域の水質汚濁を防止し水環境を保全するため、面的な污水处理施設整備として、公共下水道事業は、流域関連公共下水道認可区域の一部を対象として管渠整備を行う。また、市内、個々の施設整備として、個人設置型の浄化槽補助事業を行う。

目標の達成状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因
					基準年度	基準年度	事後評価	総合所見	
指標1	道路整備による渋滞ポイントの減少 (9箇所→5箇所)		箇所	9	平成16	0	平成21	◎	全箇所において渋滞は緩和された。 なお、より正確な実態について把握するため、平成22年度に追跡調査を実施する。
指標2	道路整備による基幹施設へのアクセス改善 (新市域から旧前橋市域にある総合病院への30分以内の人口カバー率向上 55%→70%)		%	55	平成16	71	平成21	◎	幹線道路整備がほぼ計画どおり完了したことにより、目標数値を達成した。 なお、より正確な実態について把握するため、平成22年度に追跡調査を実施する。
指標3	観光地(ぐんまフラワーパーク、赤城高原牧場クローネンベルク)の入場者数の増大 (16年度実績55万2千749人から3%増)		人	552,749	平成16	440,630	平成21	△	経済状況の変化により、観光客の減少が影響されたとの と思われる。 なお、より正確な実態について把握するため、平成22年度に追跡調査を実施する。
指標4	林道整備による幹線国道へのアクセス改善 (該当区間【赤城森林公園から国道353号】のアクセス時間を33分から13分に短縮)		分	33	平成16	17	平成21	○	舗装整備が進んだことにより、時間短縮が図れた。 なお、より正確な実態について把握するため、平成22年度に追跡調査を実施する。
指標5	污水处理施設の整備の促進 (污水处理人口普及率を81%から86%に向上)		%	81	平成17	84.8	平成21	△	本交付金を活用した污水处理施設整備については下記のその他の指標から分かるように概ね所期の目的を果たしている。

事業区分	道整備交付金を活用する事業	交付金交付期間	平成17年度～平成21年度		
------	---------------	---------	---------------	--	--

事業の実施状況
 市道:前橋市(新設-2路線、改良-8路線、修繕-2路線)
 林道:群馬県、前橋市(新設-0路線、改良-1路線)

その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	計画値	実績値		効果発現要因
						事後評価	総合所見
その他の数値指標1	市道整備延長		km	12.2	11.2	○	概ね路線整備が完了した事で目標に近い数値が得られた。
その他の数値指標2	林道整備延長		km	3.8	2.8	△	舗装整備が進んだ事により、森林事業の一定の効率化が図れた。

事業区分	汚水処理施設整備交付金を活用する事業	交付金交付期間	平成18年度～平成21年度				
事業の実施状況	公共下水道事業:下水道認可区域の一部(県央処理区第3処理分区の一部) 浄化槽(個人設置型):前橋市全域(ただし、下水道認可区域、農業集落排水事業実施地区及び農業集落排水事業の実施が確実と見込まれる地区、コミュニティ・プラント等の地域し尿処理施設による処理区域を除く)						
その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	計画値	実績値	事後評価	効果発現要因 総合所見
	その他の数値指標1	公共下水道整備延長(管渠φ200～φ250)	m	3400	4064	◎	計画した区域内の公共下水道管を設置することができた。
	その他の数値指標2	公共下水道処理人口(県央処理区の第3処理分区)	人	500	410	○	計画期間中に私道の下水道管整備が一部できなかったが、区域内の家屋について概ね供用開始が図れた。
	その他の数値指標3	浄化槽設置基数	基	1040	941	○	新築着工件数に左右されるが、概ね計画に近い基数を設置することができた。
	その他の数値指標4	浄化槽処理人口	人	3720	3808	◎	一基当たりの使用人数が設定よりも多かったため、目標人数を達成した。

※各指標の事後評価欄は、次の基準で評価(達成率100%以上…◎、達成率80%以上100%未満…○、達成率80%未満…△)

事業区分	その他の事業	
取り組み項目	取り組み内容	実施状況
みやぎ千本桜の森整備事業	「日本さくら名所100選」に選定されている「赤城南面千本桜」の後継となる新たな桜の名所づくりとして隣接区域を公園として整備するもの。事業推進にあたっては地域住民のボランティアによるサクラ苗木の植栽など、市民参加による整備を図る。	みやぎ千本桜の森整備事業として、園路広場、便所・水飲み、ベンチ・野車、管理棟、調整池、駐車場、植栽などの整備を実施。また、平成20年開催の全国都市緑化ぐんまフェアを契機とした「芝桜ひろげたい運動」を展開し、市民及び観光客によるシバザクラの植栽を行い、公園全体の魅力向上を図っている。
赤城南面千本桜まつり	「赤城南面千本桜」及び「みやぎ千本桜の森」において、桜の開花期にあわせて各種イベントを開催し、前橋の魅力発信と地域振興を図る。 ※実施主体:赤城南面千本桜まつり実行委員会	桜の開花時期にあわせて毎年開催。物産販売や地元郷土芸能の発表等を通して、地域活性化を図るほか、都市住民との文化交流会等も実施。本市を代表する桜の名所として市内外から約10万人の観光客が訪れ、賑わいをみせている。
グリーンツーリズム事業	赤城山の豊かな自然環境や農村環境を活用した体験事業等のグリーンツーリズムを推進し、都市住民と農村住民の交流を促進するとともに、地域に市外からの人を呼び込むことで、地域の活性化を図る。	市民参加型の自然環境調査や森林整備・植林活動を実施したほか、農産物直売所を拠点とした地産地消推進や農業体験を展開。そのほか、東京都文京区をはじめとする都市住民との交流事業として、農業体験ツアーなども実施。地域の魅力再発見と前橋の新しい魅力発信に努めている。

総合評価と今後の方策	<p>本地域再生計画に位置づけた事業の実施により、「赤城南面を含めた全市域のアクセス性向上」「良質な水環境の保全」という計画策定当初の目標は概ね達成された。特に、新市域における市道・林道整備については、新市建設計画推進のための合併特例債を併せて活用し、効率的な事業実施に努めたため、計画的かつ着実な事業進捗が図られた。この結果、赤城山における観光地・景勝地や農村地域・森林地域へのアクセス性が改善されたことから、今後の観光振興や都市農山村交流が大きく発展していくものと期待される。</p> <p>また、汚水処理施設整備についても、交付金を活用して計画的に事業を実施したことにより、公共下水道及び浄化槽処理人口の増加がみられ、快適な住環境整備において寄与したものと考えられる。</p> <p>今後も引き続き、本計画が目指す「街と自然の共生」に向けた事業を実施し、安全で快適な暮らしの実現と地域の再生・活力増進を目指していく。</p>
------------	---